

* 壮行会

7月7日(水)1学期期末考査終了後、グラウンドにて北信越総体2021(インターハイ)及び第103回全国高等学校野球選手権和歌山大会、全国総合文化祭和歌山大会の壮行会が行われました。校長先生からインターハイに出場する選手に「みなさんは県予選を見事に勝ち抜いた実績を持っています。どうか自信をもって、これまでの練習で身につけてきた技術力、精神力を総動員して、悔いのない戦いをしてきてほしい。」また、野球部には「和歌山県は野球王国と言われ強豪校が多い。しっかりと気を引き締め、一戦一戦全力で戦ってほしい。」、全国総合文化祭に出場・出品する生徒には「最高のパフォーマンスをお願いしたいし、全国から集まる高校生たちと生涯にわたる交流のきっかけを作ってほしい。」と激励の言葉があり、次に生徒会長から生徒を代表して応援メッセージを送りました。これに対し、出場選手代表で剣道部の産業デザイン科3年生堂前優実さんが挨拶をしました。気温も高く暑い中でしたが全校生徒がグラウンドに集まり、出場選手に熱いエールを送りました。



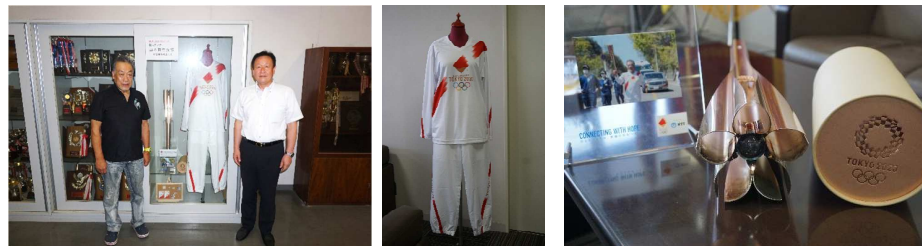
* Web企業説明会を開催

8日(木)本校多目的ホールにおいて高校生の県内就職を促進するため、Web会議システムを使った企業説明会を開催しました。昨年の企業説明会(「応募前サマー企業ガイダンス」)が中止となったため、県商工観光労働部労働政策課が中心となり、就職希望の生徒が県内企業の魅力や働きがいなどを知る機会を提供しようと、Webでの開催でした。本年度は「応募前企業ガイダンス2021」と名を変え、地域分散開催されましたが、Web企業説明会も昨年同様に開催されることになりました。地域の高校生が一堂に会しての会議も他校生の様子や意気込みを直接肌を感じながら企業を知るという意味では有意義ではありますが、一方、Web企業説明会では他校生を意識せず企業の方に気軽に質問でき、企業の方との距離感がWebを通してにもかかわらず身近に感じられました。



* 東京2020オリンピック聖火リレートーチを展示

2021年3月25日から全国で1万人のランナーが福島県を出発し、121日間かけて47都道府県を回る「東京2020オリンピック」聖火リレーが始まりました。4月9日、10日の2日間和歌山県内14市町・15区間、13~95歳の173名のランナーで聖火リレーが実施されました。初日の9日に新宮市を出発した聖火は第9区間の和歌山マリナシティを終着点とし、2日目は和歌山城前を9時に出発し、第6区間の橋本市運動公園多目的グラウンドが終着点となりました。2日目に岩出市の旧和歌山県議会議事堂から近畿大学生物理工学部前までの第2区間を走られた山本哲生氏(昭和50年本校工芸科卒業)が着用したユニフォームとトーチをお借りし、本館1階校長室前展示棚に7月14日から16日までの3日間展示しました。山本氏は和歌山県児童相談所職員で長年青少年の育成に携わってこられました。今回、聖火ランナーに応募された理由は、ご自身の走る姿を子供たちに見せることで、子供たちに夢は叶うことを伝えたいという思いからだそうです。毎日トレーニングを積み、当日岩出市の県植物公園緑化センター前200mを見事に完走されました。生徒のみなさんは見てくれましたか。そして、先輩の思いは伝わりましたか。



* 第103回全国高等学校野球選手権和歌山大会開幕

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度は応援席への入場制限をかけコロナ対策を徹底した上で、第103回全国高等学校野球選手権和歌山大会が9日(金)、紀三井寺公園野球場で開幕しました。本校の初戦は15日(日)で、田辺高校と対戦し3対1で勝利しました。2回戦21日(水)は初芝橋本高校と対戦し、残念ながら7対8で敗退しました。3年生にとっては高校生活最後の公式戦となりました。



< 8月の行事予定 >

- 2日(月) 登校日、防災スクール
- 24日(火) 2学期始業式(1限)
授業(2~6限)
- 30・31日(月・火)
単位追認考査発表(2・3年生)



2021

和歌山県立和歌山工業高等学校(全日制)

〒641-0036 和歌山市西浜3丁目6番1号

Tel:073-444-0158 / Fax:073-444-2510

HP: <https://www.wakayama-th.wakayama-c.ed.jp/>